

要求実現の力をもつ
労働組合をめざし
全国で組織建設と
拡大をすすめよう！

金属労働新聞

発行所
全日本金属情報機器
労働組合(略称 JMIU)
〒114-0023 東京都北区滝野川
3-3-1 ユニオンコーポ3階
電話 (03) 5961-5601~2
FAX (03) 5961-5603
※組織外、無断転載禁止

「戦争法廃止！2000万署名」スタート

東京北部 2駅に30人 工業団地訪問計画 本部書記局 西巢鴨で宣伝

戦争法廃止を求める2000万署名。JMIUは3万筆が目標です。12月10日夕には、東京北部地協の仲間30人が、JR赤羽駅と東武線の鶴瀬駅で署名行動。前日9日には中央本部と東京地本の書記局に、西巢鴨駅で宣伝しました。憲法共同センターの横断幕「戦争法は廃止！」のが、夕暮れでも目立ちました。



赤羽駅で宣伝・署名行動（12月10日）

【東京・市村通信員】東京北部地協では、12月10日夕、JR赤羽駅と東武線鶴瀬駅で、未組織宣伝（労働相談ノビラ）と「2つの署名」（戦争法廃止！2000万署名と労働法制改悪反対署名）にとりくみました。参加者は総勢30人。ビラは1300枚配布、署名は戦争法7筆、労働法制8筆でした。

赤羽駅では、ハンドマイクで宣伝をはじめてすぐに2の方が署名してくれた、これは幸先いいと思っていたら、後が続かず、上記の結果に終わりました。労働法制に署名してくれた人でも、戦争法については「戦争はしてはいけないが、備えは必要」と、署名を断る人もいました。

ビラの受け取りは悪くはないのに、署名が少なかったのは、師走の気忙しい、しかも帰宅途中で立ち止まって署名する時間が惜しいのか、それとも世間で言われるほど関心があるわけではないのか（感心が薄らいできたのか？）、2000万署名がまだ浸透

していないのか？

北部地協は、このとりくみに先立つ幹事会で、来年2月の中央行動（署名集約日）までに地協3役は50筆、幹事は20筆、組合員は5筆（1枚）をそれぞれ目標にしてとりくむことを確認しました。

今回の署名行動でわかったことは、署名用紙を広げて「待っている」だけではだめだということ。署名用紙を持って、こちらから個々に対話しお願いしていかなければだめだということです。駅頭や街頭でも、職場でも地域でも大いにひろげていきます。鈴木シャッター支部では、昼休みに署名用紙を持って工業団地の公園など

に出向き、休憩している労働者から署名を集める計画もしています。



事務所近くの西巢鴨駅前宣伝（12月9日）

9日夕、中央本部と東京地本の書記局に、小林さん田倉さんも加わり6人が地下鉄・西巢鴨駅で署名行動。30分間の短い時間でしたが、バス停や横断歩道で信号待ちの人にも訴え、9筆集まりました。

あなたは人間らしい生活ができていますか？ 「家族旅行？ 夢の話」

京滋地本討論集会「チェックリスト」で討論白熱

いよいよ16春闘です。各地で「春闘パンフ」読み合わせやアンケートのとりくみが開始されています。生活の実態にもとづく迫力ある要求づくりへ、いつになく家計簿調査が重視されています。同時に、だれもが気楽にできてくらしの交流ができるものとして、「くらしのチェックリスト」のとりくみが始まっています。京滋地本は職場討議の手始めにと、討論集会参加者でチェックしあいました。



【京滋・細見通信員】12月13日（日）、カシフジホールで開かれた京滋地本の16春闘討論集会では、「まず自分のくらしをみつめよう」と、くらしのチェックリストで互いの生活を交流しました。予定時間が30分もオーバーするほど、討論に熱が入りました。（写真上）

それぞれから出されたくらしの報告。「こどもの教育費に年間250万円ほどかかっている。共働きで助かっている」「自身の食費やお酒を控えてでも子供を塾に通わせたい。なによりも学費が最優先になっている」（40代・50代）、「実家に生活費として月10万円を家に入れているが、親からはもっと催促されていて大変」（20代）、「もっと余暇や趣味にお金を使いたい」（40代）、「独身なので趣味に使えるお金は多いが、その分、他を切り詰めている」（30代）、「貯金はできない。家族旅行など夢の話。子供に一人一部屋を与えられていない、住宅問題が切実」（60代）、「児童手当がありがたい」（30代）、「リフォームしたいけど70万円くらいかかる、どう捻出すればいいのか頭が痛い」（30代）、「年金は13万円。生活費は30万円。退職金を切り崩しているが、だんだん先が見えてきて不安。年をとって、こどもの教

育費がなくなったからといって生活が楽になったわけではない。70歳になっても働かなくてはいけない。若い時にもっと貯金しとけばよかった」（60代）。

それぞれの世代に、それぞれの生活の苦労や悩み、不安があることがわかりました。

「ほしいもの？」について手を上げてもらったところ、乗用車・白物家電・パソコン・オーディオ製品などなど次つぎと手が上がります。討論では、「欲しいもの全部買ったら一時金がふっとんでしまう」との率直な声や、「積極的な買い替え希望ではなく動かなくなった時に備えたい」、また「ないなら工夫して、あるものを使って生活はできる」との意見。それに対し、「なくても大丈夫というが、それで人間らしい生活といえるのか？」「我慢は美德ではない」「買いたいものが買える賃金は必要」「4万円～7万円の賃上げが欲しい」などなど、大いに議論になりました。

家計簿調査は、「一カ月間と長丁場なので大変」「財布は奥さんが管理しているから…」「詳細な数字を出すのは恥ずかしい」など、なかなかむずかしいところがありますが、「くらしのチェックリスト」は、その場で互いのくらし向きや春闘にかける思いが楽しく交流できます。

京滋地本では、家計簿調査への挑戦をひろげながら、今後それぞれの支部・分会でもこの「チェックリスト」にもとづいた討論を大いにすすめ、生活を土台とした春闘要求づくりに生かしていこうと話合っています。